

中学校での デジタル教科書 ～「これならわかるよ」～

仙台市立高砂中学校
LD・ADHD等通級指導教室
伊藤陽子

音声教科書利用のきっかけ

読めないし、書けないAさん

「でも、群読はできます！」



- いろいろなことを知っていて、話題豊富です。
- 部活動やスポーツは見ただけで技を習得できます

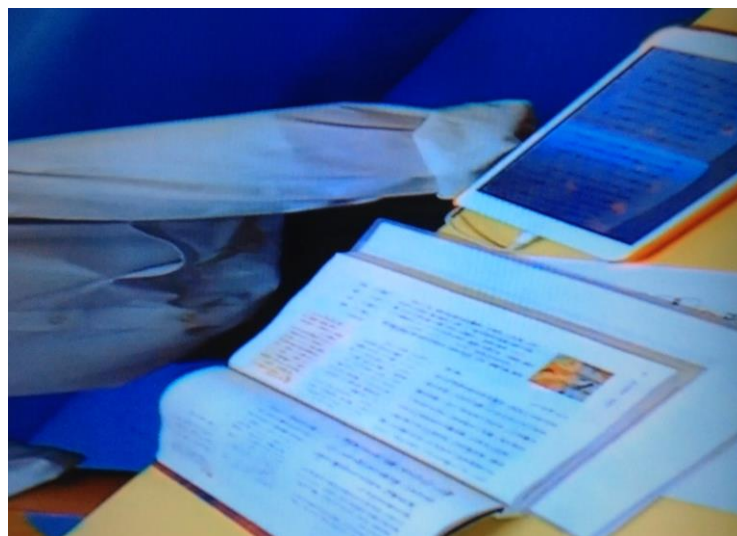
「文字以外の情報、耳からの情報、
音の情報はキャッチできてる？」

教科書が読めないAさん

ふりがなを振ったら読めるの？



教科書に音を付けてみたら



ふりがなを振って教科書を読むと

- 逐次読み
- 行飛ばし
- 同じ行を行ったり来たり



内容は理解できてるの？

- ふりがなを振っただけの時
(逐次読みになってしまうので)

読むのに疲れて
目が痛い・・・



音声をつけた教科書を使うと



内容も作者の心情もちゃんと説明できました。

テスト問題に音を付けたら



竹取物語
(古文に触れよう)

6割の正答を
記入できた

音声教科書が彼を救ってくれるかも！

デジタル教科書の利用

これ、わかり
やすいですね



通級指導＋家庭導入したBさん

タブレット端末での利用

- 中学校三年生 男子 通常学級
- 白地に黒字はまぶしくて見にくい
- 漢字・アルファベットが読めない
- 漢字・英単語を想起して書けないが、
板書などを書き写すことはできる
- 部活動・絵画など多方面で活躍している



家庭学習で予習や復習に利用

これならいつでも
教科書が読めるね



B さんの使い方

2回読む（聞く）

○1回目

ハイライトを目で追いながら集中して聞く。
（メモ等は取らない）

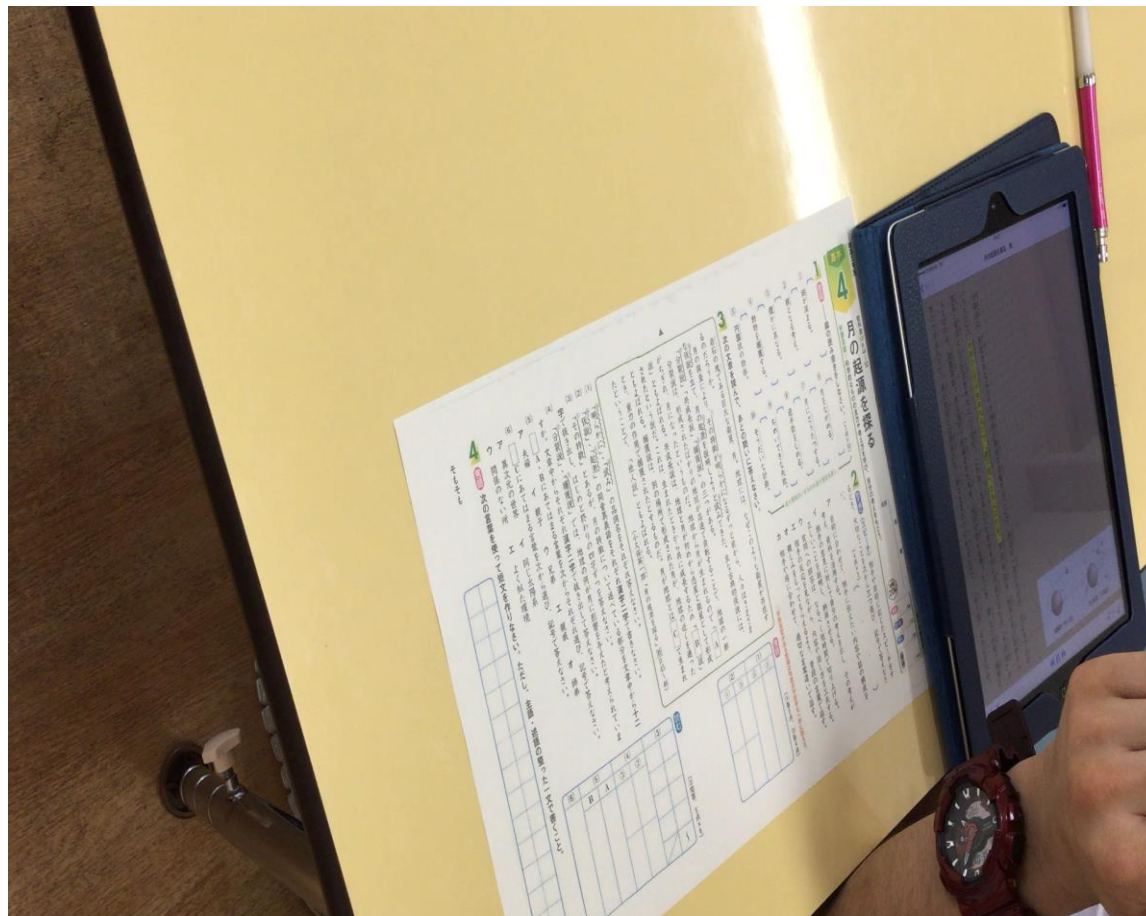
○2回目

聞きながら、自分の教科書にふりがなを振っていく。
（必要な箇所は、選択して何度も聞く）

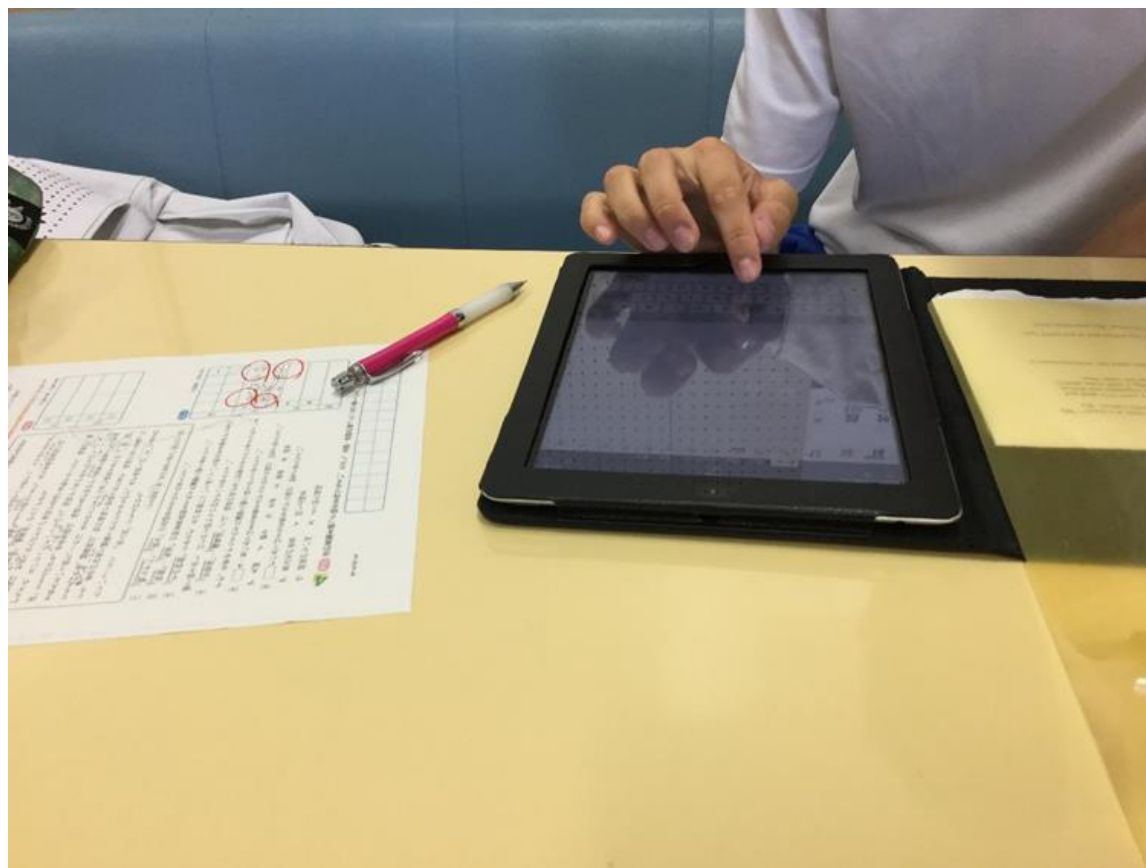


教科書ワークを取り組む際、引用文を読むときにも使用

デジタル教科書を使っている様子

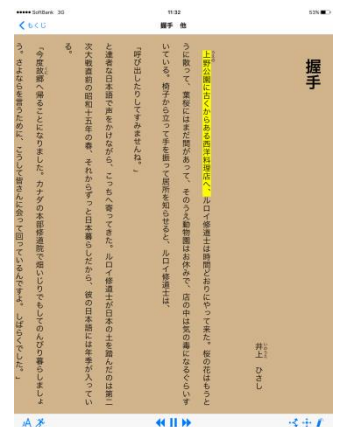
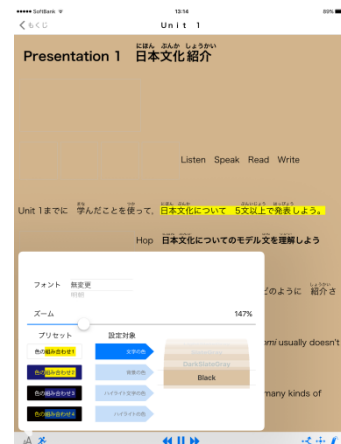


ワークに取り組んでいる様子



デジタル教科書を選んだ理由

- レイアウトが教科書と一致
- 背景色が変わえられる
- 文字の色・ハイライトが変わえられる
- フォントや字の大きさを変えられる
- 読むスピードが変わえられる



先生方の障害特性の理解へ

- ワークの正答率や提出状況の変化
- 本人の自己肯定感



定期考査の読み上げによる受験へ

- 口頭諮問による理解状況のチェック
- 評価への反映

高校に進学して

- 僕には音声教科書が必要
 - 音声教科書の申請、使用
- 「僕は字がうまく読めません。授業中に助けてほしいときがあります。」
 - 自分から職員室に行き、教科担当の先生方に依頼

ディジー教科書との出会いは

- 学習面でのサポート
- 自己肯定感の向上
- 障害特性の受容と

社会的自立への第一歩へ

こんな例もありました

学習障害で「聞き取り」に課題のあるCさん

(校内支援としてテストでのひらがな表記が認められている)

○授業中「鑑真」をガンジーと聞き間違い



定期考査で「唐招提寺を建立した人は？」の問題に

自信を持って『**がんじい**』



このエピソード後、デイジー教科書を総ルビで使用。
人名や地名などの聞き間違いをデイジー教科書を使
って確認できるようになった。

文字情報が多い中学校生活では「読めない」ことはとても深刻です。彼らは「わからない」のではなく「読めない」だけなのです。本当はちゃんとわかっているのに、なかなか理解をしてもらえず苦しんでいます。

進路決定にも大きな影響を及ぼします。

読めなくて困っている生徒たちのために
今後もデイジー教科書を効果的に活用させていただきたいと考えています。



ご清聴ありがとうございました

